

♡♡ありがとう釜石♡♡
ずっと忘れないよ!

綾瀬発・釜石応援プロジェクト



プロジェクト

本会では、東日本大震災の被災地である岩手県釜石市を応援するため、平成23年度2回の「ボランティアバスパック」を実施。平成24年度「綾瀬発・釜石応援プロジェクト」を立ち上げ、平成30年度までに19回の支援を実施、今回20回目の支援活動を実施してまいりました。

今回は、秋に開催されるラグビーワールドカップのプレマッチ「日本VSフィジー」戦が、釜石復興スタジアムで開催がされる「釜石が一番熱い日」と言われる日に訪れました。大変賑わうスタジアム周辺は、交通規制が行われましたが、その前にスタジアム近くに完成した「うのすまイトモス」や釜石港にできた「魚河岸テラス」を見学することができました。

午後からは今回も天神町復興公営住宅を会場に「第7回 釜石&綾瀬 夏の交流祭り」を開催し、大勢の方々に足を運んでいただきました。この祭りにはほぼ毎回出演して下さるダンスクルー「いがったんたら」がオープニングダンスを披露して下さり、また、市内でも非常に人気があってなかなか見ることができない、虎舞を初めて見ることができました。

プロジェクトメンバー（順不同・敬称略）

綾瀬青年会議所 綾瀬アカデミー 綾瀬市商工会青年部 ブタッコリ～推進委員会
あやせ災害ボランティアネットワーク 市民活動センターあやせ
(株)タウンニュース社綾瀬編集室

食材等提供（順不同・敬称略）

(株)ラテン大和 (有)青柳商店

協力・共催機関（順不同・敬称略）

釜石市天神町復興団地自治会・釜石市社会福祉協議会
KAMAISHI SUPPORT PROJECT がんばろう釜石/Gambaro Kamaishi

令和元年7月26日（金）～28日（日） 参加者27名

第7回釜石&綾瀬夏の交流祭り うのすまい・トモス 魚河岸テラスを視察

午前中の前半は、すっかりお馴染み釜石市社協の元事務局長矢浦氏のナビゲーションのもと、うのすまい・トモスを見学しました。この施設は、いのちをつなぐ未来館（震災伝承・防災学習施設）、釜石祈りのパーク（東日本大震災犠牲者慰霊追悼施設）、鵜の郷交流館（お食事処及び産直・お土産販売）と分かれています。特に震災伝承のコーナーでは、この場所に建っていた建物で何度もこの事業で足を運んだ、防災センターの一部を再現したコーナーがありました。あの時に見た凄惨な光景を思い出し、忘れてはいけない気持ちと、失われた多くの命に対する鎮魂の思いが湧き上がりました。

午後は、天神町復興住宅へ赴き、お祭りを開催。焼きそば、BBQ、ジュース、綿菓子、ポップコーン、水風船、スーパーボールすくいの実施、参加したボランティアさんが一生懸命おもてなしをしました。サプライズで開会を飾ってくれたのはダンスクルー「いがったんたら」。第1回よりほぼ毎回のように華を添えて下さるみなさんが、素晴らしいダンスを披露してくださいました。また、今回は只越町の虎舞を見ることができました。特に白い虎は地元の方でも滅多に見ることができない貴重なものだそうです。

そして夜は、子供達と一緒に花火を楽しみました。過去雨の多かったこのイベントも最終回は、天も味方をしてきていたようです。



東日本大震災から8年が経ちました。

綾瀬市社協では、震災直後に行ったボランティアバスパックを含め、今年度で20回の釜石訪問を行い、スタッフを含め延べ569名の方々に参加いただき、様々な支援活動を行ってきました。

最初に行ったボランティアバスパックでは、2回にわたり、がれきの撤去を行いました。

その後、市内の様々な団体の皆さんに集まっていただき、「綾瀬発・釜石応援プロジェクト」を発足させ、協議を重ねてきました。そして、現地の栄養士と共同で開発した「クリームシチューうどん」を振舞ったのがこのプロジェクトの第1回目、公園の中にできた小さな仮設団地の支援が最初でした。その後、個人宅のがれき撤去や海水浴場復帰活動、塩害を受けた畑の開拓、草むしりなどの作業と仮設団地の交流支援をふた班に分かれ実施、多い年は4回足を運びました。

寝泊まりしたところも、バスパックの時は遠野の公民館に寝袋で宿泊。その後神奈川県が設置したボランティア支援ステーション「金太郎ハウス」で宿泊し、現在はシーガリアマリンホテルが宿泊場所となったため、活動が終わってからの移動時間が大幅に短縮されました。

天神町仮設団地を初めて訪れたのは、プロジェクト2のときでした。お祭りは設営中の大雨が開会とともにピタリと止み、模擬店の他、キャンドルナイトや大道芸なども行われ、盛大に開催することができました。しかし、置いてあるものをも勝手に持っていくお年寄りや、一人一個と言っても無視して何個もお菓子を持っていく子供達の姿を目の当たりにして、価値観や感覚を正常に戻していくことも大きな役割であることを釜石市社協の職員と確認し合ったものです。今では、物はお金で買うということやルールを守るという当たり前のことが元通りになり、被災した方々の表情も柔らかくなりました。

天神町の仮設団地は、その横に復興公営住宅が建設され、会場も公営住宅へと変わり、新たな住民自治の形成が大きなテーマとなり、釜石市社協と連携して公営住宅住民を外に出し、お互いに交流を深めていく環境を整備するためのきっかけ作りがこの事業の目的となりました。

今回、ラグビーワールドカップの開催により、急速に進む復興を目の当たりにし、また仮設団地の取り壊し、復興公営住宅の全戸完成など、確実な歩みを見せる釜石にとって、もはや遠方からの支援の必要性はなくなったという判断をし、20回の節目を迎える今回の活動で、現地に赴く支援活動に一区切りをつけることとなりました。

しかし、現に仮設団地で生活している人もまだいます。公営住宅に入居したけど、周りとは溶け込めず閉じこもりがちになっている人もいます。ハード面は目に見えて変わっていますが、住民の生活は、まだまだ復興道半ばです。では私たちがこれからできることはなんでしょう。これからは、今回最終回のテーマとしました「ありがとう釜石 私たちはずっと忘れない」をいかに具現化していくかを考え、今後の活動を展開していきたいと思えます。

長きに渡りご協力をくださいました関係機関、事業所の皆様、ボランティアとして参加くださいました皆様に心より感謝申し上げます。

令和元年7月 綾瀬市社会福祉協議会

	日時	参加者数	内容
ボランティアバスパック			
1	平成23年7月29日～31日	22名	がれき撤去等
2	平成23年8月5日～7日	22名	家屋解体等
綾瀬発・釜石応援プロジェクト			
3	平成24年6月29日～7月1日	29名	青空給食・がれき撤去
4	平成24年9月28日～30日	40名	青空給食・海岸清掃
5	平成24年12月13日～16日	28名	青空給食・がれき撤去
6	平成25年3月15日～17日	33名	青空給食・ブイの移動
綾瀬発・釜石応援プロジェクト2			
7	平成25年6月21日～23日	31名	青空給食・がれきの撤去
8	平成25年7月26日～28日	34名	第1回釜石 & 綾瀬夏の交流祭り
9	平成25年9月20日～22日	29名	青空給食・海岸清掃
10	平成25年10月11日～13日	28名	青空給食・菜の花種まき
綾瀬発・釜石応援プロジェクト3			
11	平成26年7月25日～27日	40名	第2回釜石 & 綾瀬夏の交流祭り
12	平成26年10月24日～26日	28名	釜石市福祉まつり
綾瀬発・釜石応援プロジェクト4			
13	平成27年7月24日～26日	44名	第3回釜石 & 綾瀬夏の交流祭り
14	平成27年9月25日～27日	24名	上中島ふれあい交流会
綾瀬発・釜石応援プロジェクト5			
15	平成28年7月24日～26日	24名	第4回釜石 & 綾瀬夏の交流祭り
16	平成28年9月25日～27日	25名	釜石市ふれあい福祉祭り
綾瀬発・釜石応援プロジェクト6			
17	平成29年7月21日～23日	24名	第5回釜石 & 綾瀬夏の交流祭り
18	平成30年2月16日～17日	16名	鶴住居復興公営住宅交流会
綾瀬発・釜石応援プロジェクト7			
19	平成30年7月27日～29日	21名	第6回釜石 & 綾瀬夏の交流祭り
綾瀬発・釜石応援プロジェクト final			
20	零話元年7月26日～28日	27名	第7回釜石 & 綾瀬夏の交流祭り
	計(第20回まで)	569名	